

おひさま

北区立王子小学校 校長 原田英孝
巡回拠点通信
令和8年5月25日 6月号
巡回拠点おうじ 巡回指導教員
03-5902-3368(直通電話)

暑くなってきました！

梅雨入りのニュースが気になる時期になりました。学校ではプール開きが行われ、夏本番へと近づいてまいります。梅雨に入ると湿度が上がることや段々と暑くなることで、子どもたちの心身に影響が出やすくなります。生活リズムをなるべく整えていただき、早寝・早起き・朝ごはんの習慣がつくようご協力よろしくお願いします。



読み書き指導の紹介

特別支援教室では、個別指導で児童に合わせた自立活動という指導を行っています。今回は、読み書きに対する指導の内容についてご紹介いたします。

読み書きの困難さ

- ・一文字ずつたどとどしく読む ・読み飛ばしたり勝手読みをしたりする ・似た文字を読み間違える
- ・特殊音節(小さい「や・ゆ・よ・つ」)を読み間違える ・黒板の字を写すのがゆっくり
- ・鉛筆を正しく持つことや文字を正しく書くことが難しい ・文字をバランスよく書くことが難しい

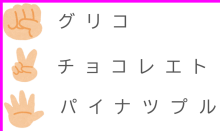


指導内容

じゃんけんゲーム

じゃんけんをして勝った人が音の数だけ進んでゴールを目指します。(グーは「グ・リ・コ」、パーは「パ・イ・ナ・ツ・プル」、チョキは「チ・ヨ・コ・レ・イト」)

・歩数を通して1音を意識することで音韻処理の力を育みます。



風船バレー

風船を落とさないようにラリーを続けていきます。空気の量を少しずつ抜いて滞空時間を変化させ難易度を調節します。

・目の運動機能を高め、文字を視覚的に捉える力を育みます。

Point!

ネットの高さや風船の大きさなどを調節することで眼球運動の力を育むことにつながります。ゲーム性が高く、モチベーションが持続しやすいことも活動の特徴です。

さかさ言葉、ためき言葉、言葉探し

聞いた言葉を音に変換すること、音を分解すること、音を並び替えて構成するなどの活動です。文章読解の能力にも関係します。

・話し言葉を音韻、音節などの小さい単位に分解したり操作したりする力を高め、音韻処理を育みます。

適当に並べられた文字から単語のまとまりを見つけ出していくことで、文字認識→音への変換→意味の理解という処理の過程を素早く効率的に行えるようになることを促します。繰り返し学習することで、滑らかに音読ができるようになってきます。

・文字を音への変換を素早く自動的に行う力を高め、読字の流暢性を育みます。



いぬはないちご

水習字や砂に文字を書く

習字では筆を操作する際、一書一書を強調して書くことや砂などに直接指を使って書くことで、紙に書くときよりも触覚・固有受容覚(筋肉や関節で感じる感覚)の情報を際立たせることができ、文字を習得しやすくなると期待されます。

環境支援

文章提示の工夫

・わかち書きで言葉の間にスペースを作る。

・文章にスラッシュを入れる。

個々に合った方法で

文章中の文字の区切りが明確になり、単語として

捉えやすくなり、

読みやすさと

内容理解の力が

高まります。

きこうのうぼくは
いさましんたに

板書の工夫

・黒板とノート間の視線を動かすのが苦手なお子さんには、ノートに鉛筆で書く代わりに、黒板を撮影することで理解を促します。タブレット用のペンと書き込みができるアプリを併用すると追記ができるのでより効果的です。また、書くのは苦手だけれど、タイピングはできるというおさんはきたコンで打ち込み、ノートをとる方法もあります。

読みの工夫

・定規やリーディングルーラーをガイドにする。

文章にラインをあてることで読む行が明確になり、眼球運動の調整がしやすくなります。